

能登半島被災地支援レポート

第3回支援活動：8月2日（金）～4日（日）・8月7日（水）

<概要>

活動地域：石川県輪島市（輪島市役所・門前地区・町野地区）珠洲市

活動内容：①輪島市各地区においてアイスクリーム（ポーションカップ 2,000 個）配布

②珠洲市市役所前飯田わくわく広場・珠洲市避難施設他にてプティケーキ 504 ピース配布

③NPO 団体との協働支援活動：珠洲市小学生を北軽井沢キッズキャンプに参加した子ども達にアイスクリーム（ポーションカップ 60 個）・グッズを提供

<今回の活動について>

今回の支援先は市役所での配布活動の他、特別養護老人ホーム「ゆきわりそう」への提供や被災されたこども達を北軽井沢でのキャンプに招待するイベントにおいて、アイスクリームやグッズを提供し、より楽しいイベントにすべく、一緒に参加させていただきました。また、この支援にもサーティワンアイスクリーム運営企業様から商品の提供やご協力をいただきました。本当にありがとう御座いました。

<復興状況及び問題点>

前回（5 月）から 3 ヶ月経過。道路復旧や被害を受けた家屋の解体もところどころ進み、飲食店やスーパーの再開が目に見えて多くなりました。また、朝市跡地においては制限区画を作り、重機が入り撤去作業が始まりました。避難所は仮設住宅建設に合わせ閉鎖を目指すも、10 月にずれ込むとの報告がありました。

震災から 8 ヶ月が経過したもののまだまだ復興は進み切れていないのが現状です。復興には多くの人の力が必要です。活動するための施設やホテルは十分ではなく、その分、制限が出てしまいます。能登半島地震被災地において、ボランティア数は東日本に比べ 10 分の 1 と少なく、再建への時間がかかってしまう一つの要因となっています。

今回の支援活動終了後、宿舎に戻る途中、街中において 100 メートル近い、長い行列が出来ていた場所がありました。聞くと物資の配給の為に並んでいるとの事でありました。また、水道の復旧が完了したとのニュースが流れますが、それは本管までで、各家庭への引き込み工事がまだ出来ない事から、未だに、自衛隊が設営した風呂設備を利用しなければならない状況があります。まだまだ、ハード面は勿論の事、ソフト面においても支援が必要であります。引き続き miraie として活動を続けて参ります。

<支援活動の様子>



輪島市役所



キッズキャンプ（北軽井沢）

<市街地の状況（輪島市町野地区）>

輪島市から 20KM 離れた町野地区には市中心部に比べると、まだまだ、多くの被災家屋が存在。水道復旧においても本管から各家庭に繋ぐ工事が十分でなく、自衛隊が設置（現在、NPO 団体が運営）した仮設入浴施設を利用する方が多いです。但し、この仮設施設は、少しでも気持ちを和らげるべく、憩いの場としての役割を持つ、地域の方には重要な位置づけ力となる施設として運営をおこなっております。



以上